

第2次環境基本計画 環境プロジェクトごとの平成27年度取組概要

環境目標像:水環境のまちニセコ

		環境プロジェクト		住民	行政	その他	平成27年度実績	
1	水源地と地下水の保全	1 水道水源保護条例に基づく水源地の保全	水源地の地権者等への理解と協力を求めます。		○		・道条例に基づく土地所有者の移転について、事前届出の必要のない移転情報の更新を行った。	
			条例の充実に向けて検討します。		○		・許可申請案件なし。	
		2 地下水保全条例に基づく地下水の保全	規制対象井戸使用・予定者に対する理解と協力を求めます。		○		・ホームページによる条例の周知 ・窓口での問い合わせ対応	
	地下水の利用状況の把握に努めます。			○				
			工事等による地下水脈への影響が出ないように関係機関に要請活動を行います。	○	○			
			条例の充実に向けて検討します。		○		・許可1件(昆布トンネル工事に伴う工事用水)、届出2件	
		3 地域住民等による水道水源地に関する情報の共有	水源地見学会やクリーンアップ作戦等により情報の共有を図ります。	○			・水環境に関する視察対応 4団体	
			統一条例連絡協議会の活動を住民に周知します。		○		・尻別川連絡協議会ニュースの住民周知	
	2	水辺の環境と生態系の保護・保全	1 尻別川流域町村による尻別川の自然環境を守る広域的な活動への積極的な参加	統一条例連絡協議会と住民の意見・活動の交流の場を運営します。		○		
				尻別川の水質保全、野生生物の生息状況等の調査や生態系の保護・保全を広域で統一的行います。		○		・後志地域生物多様性協議会(事務局:黒松内町)への参画
真狩川下流域やカシュンベツ川有島記念館周辺等、河川環境と人間の生産活動の関わりが感じられる場所を選定して、親水活動の多様なプログラムをモデル的に実践します。				○	○		・水生昆虫観察会を2回開催(H27.7.12、8.5)	
2 河畔等水辺環境の生物調査と観察会の実施			かつての澱粉工場跡や近年のマイクロ水力発電設置場所等、河川と人間の関わりを学び体験する場所の設定とプログラムをつくり	○	○		・マイクロ水力発電機の一般貸出し(2件継続)	
			親水活動を指導できる人材を発掘し、「環境マイスター」として活躍できる仕組みをつくり	○	○			
			3 河畔林や魚付き林の保全・回復	地元学等の手法により、地域資源に根ざした体験プログラムを実践します。		○		有島記念館周辺の植物観察と灌漑溝を歩くツアー開催
				尻別川統一条例連絡協議会が流域全体として取り組む事業として提案し、自主的に実践していきます。	○	○		
			4 生物多様性のシンボルとしてイトウを守る	小学校におけるイトウの稚魚放流等、校外スクールを推進します。		○		・畜養池の完成に合わせてイトウ稚魚放流とオビラメ出前講座を開催11/7
				イトウを守ることに実効性をもたらす新たな広域的な仕組みをつくり	○	○		・RAC主催「川に学ぶ体験活動全国大会in尻別川」にてオビラメの会よりのイトウ保護活動を紹介
			5 地域に存在する外来種については、これ以上の侵入を防ぐ方法について検討する	イトウの産卵・ふ化の適地選定と、保護活動を行う民間団体の活動に参加し支援します。	○	○		・有島地区にイトウ畜養池を設置(オビラメの会主催)
	外来種と外来種の実態観察会を開催し外来種のペット等をなるべく飼育しないよう、また外来種ペットの飼い方に関する啓発を行います。	○		○				
	6 本来の河川生態系を回復できるよう、河川の人工工作物を可能な限り自然に近い状態にする	外来種の野生動物等による農業被害の実態を調べ、その駆除等の対策を進めます。	○	○				
		統一条例連絡協議会として関係機関に働きかけるよう、積極的に活動します。	○	○		・有島地区第2カシュンベツ川のワンドを利用しイトウ畜養池を設置(オビラメの会)		
	7 河川等の水辺環境やその流域全体の自然景観を保全する	水辺環境や流域全体について、景観条例に基づく景観保全に取り組めます。		○		・景観条例の運用 協議12件		
		町内で保全すべきと思われる景観について、住民参加により選出し、保全に向けた取組について検討します。	○	○		・ふるさと眺望点(双子のさくらんぼの木)樹勢回復存続事業		
3	水質の保全	1 尻別川とその支流の水質向上を図る	水質悪化の実態把握と改善方法、防止に向けた活動を行います。		○		・河川清掃活動(蘭越町・しりべつリバーネット)	
			導入促進に向けた個別啓発を進めます。		○		・合併処理浄化槽の設置29件(うち、町補助金利用10件)	
		2 合併処理浄化槽等の排水処理施設の普及に向けた支援を継続	導入促進に向けた新たな支援策について検討します。		○			
			大規模な営業用施設等の排水水質規制を検討します。	○	○			
		3 バイオトイレ等環境調和型処理システムの導入促進	洗剤等による汚染や浄化槽への影響等の勉強会を開催します。	○	○			
排水の水質や排水先について、基準に即して管理を行います。	○			事業者				
4 河畔へのごみ投棄の防止	様々なタイプの処理システムについての情報収集と比較検討を行います。		○					
	農業者、釣り人等への啓発を強化します。	○	○	事業者				
1	河川の多様性を図る	河川管理者や住民による巡回と監視活動を行います。	○	○				
		河川に関わる様々な主体と尻別川統一条例連絡協議会の定期的な情報交換等により連携活動を行います。	○	○		・全国の川で活動している団体が川文化の創造等情報交換を行う「川に学ぶ体験活動全国大会in尻別川」を開催		
2	河川の利用に関する情報共有の仕組みづくりを進める	民間団体や各種河川利用主体による自主的なルールづくりの促進と、行政による支援を進めます。	○	○				
		河川の利用についてのルールづくりを進める	○	○				

		環境プロジェクト		住民	行政	その他	平成27年度実績	
4	仕組 みづく りにつ いて調	3	灌漑溝や農業用排水路の水質保全や親水性の確保等に向けたルールづくり	○	○		・有島謝恩会による有島灌漑溝の草刈清掃活動(ニセコ環境評価の会参加)	
		4	水環境に関わり活動している民間団体を支援する		○		・オビラメの会へ有島畜養池管理運営費の補助を行った	
5	森林環境の保全・育成	1	天然林を守り育てる	○				
		2	水源地周辺の森林を守り育てる	○			有島記念館周辺の植物観察と灌漑溝を歩くツアー開催	
		3	人工林の育林を充実する	森林の伐採計画に伴う植林計画の適切な遂行を見守ります。	○	○		
				森林整備計画(H24年度～)により適切な森林管理を指導します。		○		・ニセコ町森林整備計画の進行
		4	里山(身近な自然)を育成する	植林に際して針広混交林の形成を誘導します。	○	○	所有者	・ニセコ森と緑の会活動支援(事務局:ニセコ町)平成27年度解散
				森の手入れに向けた有志のボランティア参加の仕組みをつくりま	○			・ニセコ環境評価の会が平成26年度に行った有島地区里山の保全に係るフォローアップ活動を実施
		5	間伐材等木質バイオマスの利活用を進める	バイオマス資源としての新規利活用について、事例収集等を行いながら、可能性について調査します。	○	○		
6	温室効果ガス(二酸化炭素)を吸収する森林を植え育てる	二酸化炭素を効率的に吸収する樹種や樹齢等について植林計画を作成し、適切な場所に森を造成します。	○	○	事業者			
7	保全すべき森林等を含む総合的な土地利用計画を策定検討する	保全すべき自生植物群落(カタクリ、エゾリュウキンカ等)について住民参加により調査を行い、保全モデル地区として設定し	○	○				
1	環境と調和した安全・安心な農産物の生産	1	土づくりと地域循環型クリーン農業の推進	有機質資源確保、完熟堆肥の計画的な施用等土づくりの推進と支援を行います。	○	○	事業者	・土壌診断事業補助(1/2補助)
				土壌診断に基づく効率的な施肥・防除を進めます。	○	○	事業者	
		2	クリーン農産物の生産と流通促進	ニセコ町独自のクリーン農業認証制度について検討を行います。	○	○	事業者	
				使用肥料や農薬に関するトレーサビリティ情報の地域内共有を進めます。	○	○	事業者	・普及センターとの連携
		3	人と環境にやさしい農産物の地産地消を推進する	クリーン農産物に関する技術支援と人材育成を進めます。	○	○	事業者等	・ニセコビュープラザ直売会協働組合設置(H25.5.17)
ビュープラザを含め、リゾート地や町内各地に販売拠点をつくりま	○			○	事業者			
4	休耕地、耕作放棄地等を環境調和型の市民農園として活用検討する	販売拠点での品質チェックシステムをつくりま	○	○	事業者			
2	自然エネルギーの削減と温室効果	1	自然エネルギーの導入拡大に向けて多様な方式について検討を進める	農地流動化支援事業や農地利用集積事業、国営農地盤整備事業等による不耕作地の実態調査を行います。	○	○	事業者	・環境講演会「万人のための持続可能なエネルギー～ニセコとマレーシアの意外な関係」の開催
				農地所有者と町による利用推進の仕組みをつくりま	○	○	所有者	・公共10施設での新電力契約への移行(尻別川王子水力発電所をエネルギー拠点とするPPS)
		2	自然エネルギー研究会等の活動を支援	移住促進政策における、短・中・長期のお試しプログラム等において活用検討します。	○	○		・ニセコ自然エネルギー研究会支援
				雪氷熱、風力、中小水力、地中熱、温泉熱、太陽熱等の自然エネルギー利用拡大に向けた取組を進めます。	○	○	事業者	
		3	公共施設等を中心に自然エネルギーの導入を進める	自然エネルギーの積極的な導入により、温室効果ガスの削減を進めます。	○	○		・ニセコ子ども館に地中熱ヒートポンプを導入
				自然エネルギー研究会等の活動を支援ま	○	○		・環境省GPP補助事業による公共4施設の省エネ設備導入調査を実施
4	民間施設への自然エネルギー導入の促進	導入後のコストや効果等に関する情報を公開します。	○	○		・町民センター地中熱ヒートポンプ導入効果の情報収集		
		公共施設への地中熱利用ヒートポンプ等先導的な自然エネルギーの導入を推進しま	○	○	事業者	・環境省GPP補助事業による民間11施設の省エネ設備導入調査を実施		
5	スマートコミュニティの構想について研究と検討を深める	民間施設への導入に向けて、導入後の状況等に関する情報交換の場を運営します。	○	○		・環境省GPP補助事業による「ニセコ町低炭素な地域づくり実行プログラム」作成		
省	省	リユース、リサイクル、リデュースについて啓発を行います。		○		・町広報誌の「クリーンステーションコーナー」にて啓発		

		環境プロジェクト	住民	行政	その他	平成27年度実績		
Iを大切に使う取組	3	1 リユース・リサイクル・リデュース(3R)の定着	省資源・省エネルギーに関する多様な知恵や工夫の情報の蓄積と情報発信を行います。		○			
			“もったいない”精神を文化活動として楽しむ住民活動等を促進・支援します。	○	○			
			DIY等リサイクルに関する啓発を行います。		○			
		2 省資源・省エネルギー型の生活への切り替え	エコカーへの更新を進めます。	○	○	事業者	・スマートエネルギー機器(電気自動車等)デモ展示(産業まつり会場) ・公用車2台をクリーンディーゼル、低燃費車に変更	
			一般住宅の省エネ改修補助を実施します。		○		・住宅省エネルギー改修促進補助金 実績1件	
			デマンドバス等による公共交通網の拡大展開を進めます。		○		・デマンドバスの運行	
	4	ゴミの分別と資源化	1 ごみの分別が徹底できるよう周知を図る	ごみの分別がわかりやすくなるような講習会や見学会等、工夫した啓発を行います。		○		・町ホームページ、広報誌でごみの分別等を周知
				分別の工夫アイデアを公募し情報交換する広報活動を行います。		○		
			2 ごみの排出量の低減に向けた取組を行う	ごみ排出量増加傾向の背景分析を行います。		○		・もっとしりたい今年の仕事でごみ処理に係る経費及び処理量を掲載している
				ごみの排出量削減に向けた啓発を強化します。		○		・町広報誌の「クリーンステーションコーナー」にて啓発
				グリーン購入に関する情報提供と実践を進めます。	○	○	事業者	
		3 ごみの行方についての情報を共有する	ごみ処理や再分別のリサイクル施設等の見学会を実施します。		○		・ニセコ町一般廃棄物最終処分場の施設見学の随時受け付け(申込なし)	
			生ごみの自家堆肥化を実践しているケースについては、野生動物対策を啓発します。堆肥センターで作られる堆肥の消費拡大を進めます。	○	○	事業者		
		4 ごみ処理に関する環境負荷等の情報を共有する	LCAによる評価算出を試行します。		○			
		5 河畔や森林等見えない場所への不法投棄を防ぐ	水辺における農業や化学肥料の容器の不法投棄防止に向けた啓発活動を強化します。		○			
周辺住民からの通報、環境美化巡回、クリーンアップ作戦の実施等による不法投棄の防止・抑制を図ります。			○		・役場職員による環境美化巡視及びクリーン作戦を実施			
		悪質なケースに関しては、監視カメラの設置検討や警察への通報を行います。		○		・不法投棄について警察への相談		

平成27年度ニセコ町の環境に関する主な取組

○環境保全

事業名	内容	担当係	予算額(千円)	支出済額(千円)	備考(平成28年度以降の予定等)
第1回水生昆虫観察会「川をみてみよう」	小学1～6年生(親、兄弟含む)を対象とした水生昆虫観察会。FFニセコ川を見る会委託事業。H27.7.12実施。講師:齊藤和範氏(旭川大学地域研究所特別研究員)。児童12名保護者7名ほか2名参加。	企画環境課環境モデル都市推進係	155	152	継続実施
第2回水生昆虫観察会「ニセコの川で遊んでみよう」	小学1～6年生(親、兄弟含む)を対象とした水生昆虫観察会。FFニセコ川を見る会委託事業。H27.8.5実施。講師:FFニセコ川を見る会。児童9名保護者3名その他1名参加。	企画環境課環境モデル都市推進係			
水道水源保護条例に基づく許可状況	0件	企画環境課環境モデル都市推進係	0	0	
地下水保全条例に基づく許可状況	条例第5条第3項に基づく協議(昆布トンネル工事に伴う工事用水)1件、条例第13条に基づく届出2件	企画環境課環境モデル都市推進係	0	0	
後志地域生物多様性協議会	協議会(事務局黒松内町)への参画。	企画環境課環境モデル都市推進係	11	11	
リサイクルペーパーの使用	古紙100%のリサイクルペーパーを原則、すべての事務用紙に使用、事務封筒にも再生紙を使用(右記予算額は、財政係予算計上分のみ)	総務課財政係	2,604	1,835	取組みの継続
グリーン購入の推進	予算編成方針において、備品、トイレトペーパー等の消耗品についても、環境に配慮された製品を導入を指示	総務課財政係	0	0	取組みの継続
ニセコ山系クリーン作戦	ニセコ山系観光連絡協議会主催 7月10日開催ニセコ町分参加者5名	商工観光課観光戦略推進係	6	1	実施予定
植物・産業遺産見学会「有島記念館周辺の植物観察と有島灌漑溝を歩く」	産業遺産(有島灌漑溝)と植物観察。H27.7.4実施 講師:持田誠(浦幌町立博物館学芸員)、梅田滋(コミュニティ研究所) 参加20名	町民学習課有島記念館係	70	69	

環境保全型農業直接支援対策交付金事業	有機JASや特認栽培等を実施しているの農業者に対し農業の環境負荷を低減させている面積に対して助成金の交付の実施。国1/2道1/4町1/4	農政係	368	262	継続 327a*8,000円
ニセコ町米クリーン米生産推進支援事業	うるち米を作付している農業者でイエスクリーン農業を実践した人に対し環境負荷を低減させている面積に対して助成金の交付。120円/a+195円×出荷俵数	農政係	4,965	4,736	H28年度継続 40円/a×28,000a+200円×8,300俵
ニセコ町クリーン作戦	町内ぐるみ清掃月間 5/1～5/31、10/1～31 春のクリーン作戦 5/1実施、78名参加 秋のクリーン作戦 10/14雨天中止	町民生活課生活環境係	17	11	継続実施
尻別川水系流域水質調査	町内指定地区2箇所(羊蹄カントリークラブ、ニセコレックゴルフ場) 調査主体:南後志漁業協同組合長会、尻別川環境保全対策協議会、10/19実施	町民生活課生活環境係	0	0	経費は漁協・対策協で負担
景観条例に基づく申請件数	12件	建設課都市計画係	0	0	

○その他省エネ・CO2削減など

事業名	内容	担当課	予算額(千円)	支出済額(千円)	備考(平成28年度以降の予定等)
夏季の節電対策	7月～9月に国の要請に基づき実施。数値目標なし。	企画環境課環境モデル都市推進係	0	0	公共施設の平成22年度対比4%の増(役場庁舎のみ△18%の減)
冬季の節電対策	12月～3月に国の要請も基づき実施。数値目標なし。	企画環境課環境モデル都市推進係	0	0	
地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	ニセコ町が行う事務事業から排出されるCO2について、本計画に基づき排出量の調査を行った。	企画環境課環境モデル都市推進係	0	0	役場庁舎等公共施設のCO2排出量1,335,780kg-CO2/年
ニセコ町低炭素な地域づくり実行プログラム作成事業	町内の公共施設及び観光関連民間施設において、CO2削減を目的とした設備導入に係るFS調査を行った。	企画環境課環境モデル都市推進係	10,000	9,936	当該調査をもとに、民間施設等の設備導入を行う。
環境講演会	3月22日「万人のための持続可能なエネルギー～ニセコとマレーシアの意外な関係」参加33名 講師:外務省地球環境問題担当大使 堀江正彦氏	企画環境課環境モデル都市推進係	100	99	

まちづくり町民講座	3月30日「電力自由化って？これからの町の電力と町民の暮らし」参加36名 講師：王子伊藤忠エネクス電力販売(株)社長補佐田中江雅智氏	企画環境課環境モデル都市推進係	0	0	
新電力への契約移行	平成28年4月から役場庁舎など10施設について、尻別川王子水力発電所をエネルギー拠点とする王子伊藤忠エネクスと電力供給契約を行う。	企画環境課環境モデル都市推進係	0	0	
複合機の省エネ利用	環境配慮機器の導入、出力の際の両面印刷や複数ページまとめて印刷、スキャン活用によるペーパーレス化の推奨、ミスプリント防止対策、機器の省エネ設定	総務課財政係	0	0	取組みの継続、更なる無駄な紙出力の抑制推奨
事務用品の再利用	再利用コーナー「よみがえれ」の設置による、事務用品再利用の推奨	総務課財政係	0	0	取組みの継続
役場庁舎営繕事業	役場庁舎外灯修繕の際、照明器具を水銀灯からLEDに変更	総務課総務係	594	114	
住宅省エネルギー改修促進補助金	一定の省エネ基準に対応する断熱改修工事への補助。上限30万円。 実施実績1件	建設課建築係	1,500	300	継続実施
街路灯LED化	町内の街路灯(627基)を4年間でLED化を行う。 今年度4年目102基をLED化	町民生活課町民生活係	15,995	14,904	1年目211基、2年目158基、3年目156基、4年目102基